

湾岸道路

作詞：郷原 茂樹

作曲：久保 禎

Intro.

♩=76 ca. Am Em/G FM7 Em7 Dm7 CM7 Dm7 FM7/G

A C G/B Am Am/G FM7 C/E Dm7 Gsus4 G

にねん—まえにそ つぎょう—した—せんぱいが どうし—てなのか ふいに—

9 C G/B Em7-5/B^b A7 Dm7 C/E FM7 G7 C

わたし—をたずね てきてくれた— あのひ—のままだに ほほえ—んで—

B FM7 G Em7 Am7 FM7 G Em7 Em7-5 A7

ほんのす—こしかた りかけ—てく—れた でも それだけじゃわ かれが—おし—くて—

17 FM7 G Em7 Am7 Dm7 C/E

わたし—はつうがく ようの—じてん—しゃで かれの—バイクを—お

20 Dm7 Gsus4 F/G G

い — かけ た と

C FM7 G Em7 Am7 Dm7 G7 CM7 Gm7 C9

おくに— はるのく — — もが— か がやい—てい—るのに — わんが—んどうろ

湾岸道路

27 FM7 G Em7 Em7-5 A7-9 Dm7 F/G

きたい—ほど
は かぜが つよ—かった ただむちゆうで—は しりつ—づけた—わんがん

31 Am7 FM7 Am7 FM7

どうろ—

35 **D** C G/B Am Am/G FM7 C/E Dm7 Gsus4 G

えいが—でみたハ レ—とかに—くらべたら ちいさ—いうえに ひどい—

39 C G/B Em7-5/Bb A7 Dm7 C/E FM7 G7 C

オールドフォーム のオートバイ— うしろ—をちょっと ふりむ—いて—

43 **E** FM7 G Em7 Am7 FM7 G Em7 Em7-5 A7

かれは—たかくひ だりて—をふ—った ただ それだけのわ かれの—あい—ずに—

47 FM7 G Em7 Am7 Dm7 C/E

わたし—はひっしに なって—こい—ただ かれの—バイクに—は

50 Dm7 Gsus4 F/G G

な — され た と

53 **F** FM7 G Em7 Am7 Dm7 G7 CM7 Gm7 C9

おくに—はるのく — —もが—か がやい—てい—るのに—
わんがんどろ

湾岸道路

57 FM7 G Em7 Em7-5 A7-9 Dm7 F/G

きたいーほど
は かぜが つよーか った た だむちゆーうでー は しりつーづけたーわんが ん

61 Am Em/G FM7 Em7 Dm7 CM7 Dm7 FM7/G

どうろー

65 G C G/B Am Am/G FM7 C/E Dm7 Gsus4 G

うまれーそだちな じんできたーこのまちで おとなーになり やがてー

69 C G/B Em7-5/Bb A7 Dm7 C/E FM7 G7 C

とついでゆくひ もーきま るー そんなさーなかに ひとづーてにー

73 H FM7 G Em7 Am7 FM7 G Em7 Em7-5 A7

かれがーすでにみ まかれーたときいた ふと なつかしくか くれるーようーにー

77 FM7 G Em7 Am7 Dm7 C/E

わたしーがたずねて いったーせいかには かれのーバイクがーの

80 Dm7 Gsus4 F/G G

こ ーっ て い た と

83 I FM7 G Em7 Am7 Dm7 G7 CM7 Gm7 C9

おくにー はるのく ーもがーか がやいーていーるのに ー わんが ん どうろ

湾岸道路

87 FM7 G Em7 Em7-5 A7-9 Dm7 F/G
 きたいーほど
 は かぜがつ よーかった た だむちゅーうでー は しりつーづけたーわんがん

91 J FM7 G Em7 Am7 Dm7 G7 CM7 Gm7 C9
 おくにー
 どうろー はるのく ーもがー か がやいーていーるのに ーわんがんどろろ

95 FM7 G Em7 Em7-5 A7-9 Dm7 F/G
 きたいーほど
 は かぜがつ よーかった た だむちゅーうでー は しりつーづけたーわんがん

Ending

99 Am Em/G FM7 Em7 Dm7 CM7 Dm7 FM7/G
 どうろー

103

107

湾岸道路

一、二年前に卒業した先輩が
どうしてなのか、ふいに
私を訪ねて来てくれた
あの日のままに微笑んで
ほんの少し語りかけてくれた
でも、それだけじゃ 別れが惜しくて
私は通学用の自転車で
彼のオートバイを追いかけた
遠くに春の雲が輝いているのに
湾岸道路は
泣きたいほど風が強かった
どこまで行けばよいのかしら
ただ夢中で走り続けた
湾岸道路 湾岸道路
湾岸道路

二、映画で見たハレーとかに比べたら
小さい上に ひどい
オールドファームのオートバイ
後ろをちよつとふり向いて
彼は高く左の手を振った
ただ それだけの 別れの合図に
私は必死になってこいだけど
彼のオートバイに離された
遠くに春の雲が輝いているのに
湾岸道路は
泣きたいほど風が強かった

ただ夢中で走り続けた

湾岸道路 湾岸道路

湾岸道路

二、生まれ育ちなじんできたこの町で

大人になり やがて

嫁いでゆく日も決まる

そういうさなか 人づてに

彼がすでにみまかれたと聞いた

ふと 懐かしく 隠れるように

私が訪ねて行った生家には

彼のオートバイが残っていた

遠くに春の雲が輝いているのに

湾岸道路は

泣きたいほど風が強かった

どこまで行けばよいのかしら

ただ夢中で走り続けた

湾岸道路 湾岸道路

湾岸道路